



蒲田モダン 活弁

和製チャップリンと
本家本元チャップリン

活動写真弁士
山崎バニラ

今から90年前、蒲田には映画の撮影所がありました。
「流行は蒲田から」「東洋のハリウッド」と呼ばれた蒲田。
そこから生まれた珠玉の無声映画を「質あれ」

2026.8.23 日

【開演】14:00(開場/13:30) ※途中休憩なし、約80分




 **大田区民ホール・アプリコ 小ホール**

- JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩3分
- 京急「京急蒲田駅」西口から徒歩7分

全席指定

一般 / 3,000円(税込)
中学生以下 / 1,000円(税込) ※4歳以上入場可

【演目】

-  蒲田モダンことはじめ
-  子宝騒動
-  チャップリンのスケート

松竹蒲田撮影所には和製チャップリンと呼ばれた喜劇俳優も大活躍。本物の喜劇王チャールズ・チャップリン作品とともに弾き語り活弁をお届けします。お子様から大人の方まで是非ご来場ください。

チケット
発売情報

オンライン
電話

5月12日(火)12:00～
オンライン(24時間対応) <https://www.ota-bunka.or.jp/>
公演日前日までご予約いただけます(残席がある場合)。
※専用電話(休館日をのぞく12:00～17:00)03-3750-1555
※電子チケット・コンビニ発券の場合は別途手数料がかかります。



窓口

5月13日(水)10:00～
※オンライン・電話で予定枚数を終了した場合窓口販売は行いません。
※3館窓口(休館日をのぞく10:00～19:00)
◆大田区民ホール・アプリコ(大田区蒲田5-37-3)
◆大田区民プラザ(大田区下丸子3-1-3)
◆大田文化の森(大田区中央2-10-1)

活動写真弁士とは

明治から昭和初期にかけて映画はまだ音がついていない無声映画でした。映像が動くだけでびっくりした時代。「わ!写真が動いた!」というわけで、映画は「活動写真」と呼ばれておりました。この活動写真に全役の声をつけ、語り部も担当したのが活動写真弁士。弁士はそれぞれ自分で台本を書くので、弁士によって映画の印象が大きく変わるのも見どころです。弁士の文化は日本で特に花開き、全盛期には7千人以上。しかし現在十数名。その中の一人である山崎バニラが史上初にして唯一無二の大正琴&ピアノによる弾き語り活弁を披露いたします。いつの間にか弁士の存在を忘れ、スクリーンに引きこまれる不思議なエンターテインメントを是非ご堪能ください。

プロフィール

山崎 バニラ Yamazaki Vanilla

東京都大田区育ち。活動写真弁士。2001年、デビュー。独特の声で大正琴&ピアノを弾き語る独自の芸風を確立。2022年からはフラメンコ用カスタネットも取り入れる。2012年よりこくみん共済 coop ホール/スペース・ゼロで独演会「山崎バニラの活弁大絵巻」を開催。2018年より東京国際映画祭ユース部門で活弁を披露。蒲田では2020年「蒲田映画祭」、2022年「OTA アート・プロジェクト」で独演会を開催。声優としてもアニメ『ドラえもん』ジャイ子役他出演作多数。清泉女子大学でスペイン語を学んだ経験を生かし、NHKラジオ『まいにちスペイン語〜マサトの مدريد日記』(2021)、Eテレ『しあわせ気分のスペイン語』(2024)でコーナーを担当。



プログラム

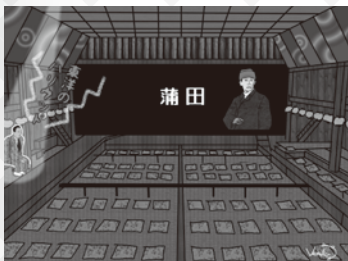
演目①

16分

『蒲田モダンことはじめ』

「流行は蒲田から」大正から昭和初期にかけて、多くの人々が蒲田を訪れました。「東洋のハリウッド」松竹蒲田撮影所の活況も含め、「蒲田モダン」という言葉が生まれました。時代の先端を行く蒲田は、日本の得意とする「モノづくり」の技術を駆使し、志高い人々によって築かれました。蒲田の歴史を知れば活弁や無声映画をよりお楽しみいただけるガイドとなること間違いなし!蒲田の地をご一緒にタイムスリップいたしましょう。

■監督・台本・イラスト・編集・音楽:
山崎バニラ



演目②

34分

映画『子宝騒動』

監督は喜劇映画の神様と呼ばれた斎藤寅次郎、主演は和製チャップリンと称される小倉繁。福田家では間もなく七人目の子宝に恵まれる予定だが、福田さんは失業中。産婆を呼びに行っても、六人分の取り上げ料も払っていないと断られてしまう。その産婆はなんと男爵家の豚のお産へ。「うちの女房も豚に生まれて来ればよかったのに」と嘆きつつ、なんとかしてお金を作ろうと四苦八苦。途方に暮れる福田さんの目の前に、遂に金運がめぐって来た。福田家の楽しい騒動を大正琴弾き語りでお届けします。

■制作年:1935年(昭和10年) 制作国:日本
■監督:斎藤寅次郎 出演:小倉繁
[映像提供]株式会社マツダ映画社



演目③

20分

映画『チャップリンのスケート』

チャーリー君はレストランのウェイターとして働いていますが、店内では騒動ばかり。たみかけるギャグに思わず吹き出してしまうことでしょう。チャーリー君はひょんなきっかけでスケートパーティーに参加することに。スケート場では華麗過ぎる(!)スケート技を披露。入り乱れた人間模様とドタバタ喜劇の魅力が満載。後年の傑作『モダン・タイムス』へと続く創作の布石とも言える一編をピアノとカスタネットの弾き語りでお楽しみください。

■制作年:1916年(大正5年) 制作国:アメリカ
■監督・脚本・主演:チャールズ・チャップリン
[映像提供]株式会社マツダ映画社



大田区民ホール・アプリコ

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-37-3
TEL:03-5744-1600 FAX:03-5744-1599

アクセス

- JR京浜東北線、東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩3分
- 京急「京急蒲田駅」西口から徒歩7分

MAP

